練習8　問いに対する答えとして最もよいものを一つ選びなさい。

人間は何であれ、自由が好きです。「自由」とは「自分勝手(注1)」と考えてもらってもいいでしょう。人間は自分勝手を好みます。だが、他人の勝手になることを嫌います。憎みます。誰もが自分勝手に振る舞おうとすると、他人の勝手と衝突します。自分の勝手を通そうとすると、他人の勝手を押しとどめなければなりません。またどんなに自分の勝手を押し通そうとしても、相手のほうが強力ならば、相手の勝手に押さえ込まれてしまうことになります。「自由」になろうと思うと、やっかいだということがわかるでしょう。

（鷲田小彌太『考えることが苦手な人たちへ　10代からのプチ哲学のすすめ』こう書房）

(注1) 自分勝手：他人のことは考えず、自分の思いどおりに行動すること。

問い この文章で筆者が最も言いたいことは何か。

1　人は皆自由になりたいと考えるが、自分勝手な行動はやめなければならない。
2　人は何かをさせられるのは嫌だが、完全に自由になることを好むわけでもない。
3　人が各人の自由を勝ち取るためには、ほかの人と衝突することが重要である。
4　人は皆自由になりたいと考えるが、他人と衝突するので大変だ。

LIVEWORKSHEETS

練習９　問いに対する答えとして最もよいものを一つ選びなさい。

できる人と思わせるためには下準備が必要である。しかし、実は最大の下準備は、何といっても「自分を知る」ことである。

というのは、できないものをできるように見せるのはかなり難しいが、自分の長所を前面に出せば、できるように見せるのはそう難しくないということがある。もう一つは、人間というのは、よほど嫌いな相手でない限り、相手の短所より長所のほうに目が行くよう出来ていることが、さまざまな心理実験で明らかにされている。いわゆる「隣の芝生は青い」現象である。

だから、欠点を隠そうとするより、長所を目立つようにしたほうが、できる人に見えるのだ。現実に、社会のほうも、欠点のない何でも屋のような人間より、多少欠点はあっても、長所の抜きん出た人間のほうを重用するようになってきている。

（和田秀樹『趣味・教養を「武器」に変える　和田秀樹の“最終最強„知的生産術』毎日新聞社）

問い　この文章で筆者が最も言いたいことは何か。

1　自分をよく分析し、欠点が目立たないようにすれば、他人からできる人と思われる。

2　周囲の人に自分の長所も短所も理解してもらえば、できる人と思ってもらえる。

3　できる人と思われるには、何かをするとき、十分に準備し、欠点を補う必要がある。

4　できる人と思われるには、自分の長所を周りの人によくわかるようにするのがよい。

LIVEWORKSHEETS